

## 国内外に「山梨の日本酒」をPR!

### 甲府と東京の銀座で試飲会を開催



担当：保坂

山梨県酒造協同組合（天野怜理事長／組合員12名）は、2月18日に古名屋ホテルで、香港のバイヤーやレストランの仕入責任者、報道関係者を招聘しセレモニー・試飲会を開催した。また、2月20日にも東京の銀座にあるベージュ アランデュカス東京において、同様のセレモニー・試飲会を開催し、組合関係者をはじめレストランやホテルの仕入れ責任者など延べ100名が参加した。

本イベントは、山梨の地酒の魅力を国内外に発信することを目的としており、東京の銀座で開催されたセレモニーには、県内6つの酒蔵（笹一酒造・山梨銘醸・太冠酒造・谷櫻酒造・萬屋醸造店・井出醸造店）

が参加。日本酒と特製カナッペを提供するペアリング形式の特別試飲会や国の地理的表示（GI）制度に指定された「山梨の日本酒」をPRし、国内外のバイヤー約100名に向けて計30の日本酒が提供された。

また、各酒蔵が所在する6つの水系（富士北麓、富士・

御坂及び御坂北麓、八ヶ岳山麓、南アルプス山麓、奥秩父山麓）から採取した水を使用するなどそれぞれ「名水の地」山梨県ならではの地域固有の個性を反映した、各酒蔵の担当者が特徴などを紹介しながら普及を図った。

天野怜理事長は「ユネスコの無形文化遺産に～伝統的造り～が登録されたことも追い風となっている。これからも山梨の豊かな水と絡めて日本酒の魅力を発信していきたい」としている。



山梨県 酒蔵マップ



挨拶をする天野理事長